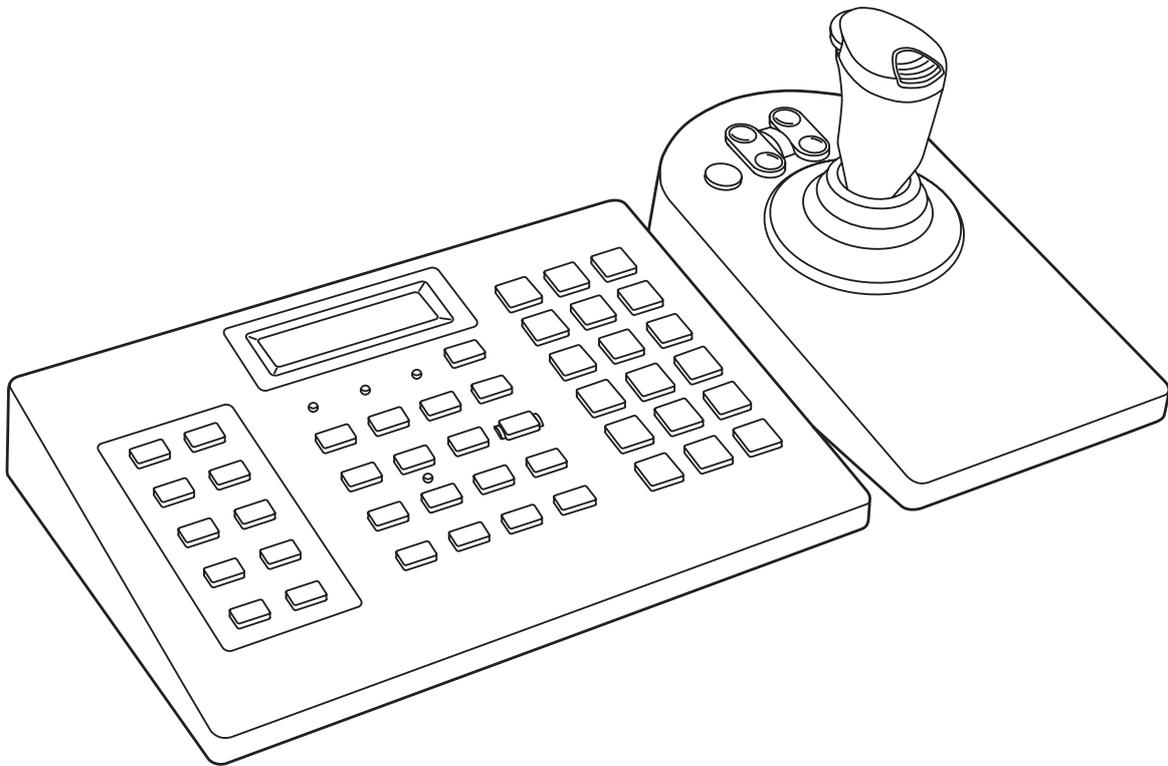


取扱説明書

工事説明付き

システムコントローラー

品番 WV-CU980



本書では、品番の一部を省略している場合があります。

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(4ページ~5ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

もくじ

ご注意	安全上のご注意	4
------------	----------------------	----------

はじめに	はじめに	6
	商品概要	6
	特長	6
	付属品をご確認ください	6
	取扱説明書について	6
	オープンソースソフトウェアについて	6
	著作権について	7
	免責について	7
	ネットワークに関するお願い	7
	設置上のお願い	8
	使用上のお願い	9
各部の名前と働き	10	

準備	操作を始める前に	13
	ディスプレイ表示について	13
	操作の表記について	14
	ジョイスティックの接続	15
	ACアダプターの接続	15
	電源の入れかた	16
	電源の切りかた	16
	基本的な操作の流れ	16
	初回セットアップ	17
	通常運用	19

本体設定	本体設定	20
	設定メニューについて	20
	設定メニュー画面の流れ	20
	設定メニュー一覧	21
	設定メニューの使い方	21
	ディスプレイ／ブザーの調整	22
	ジョイスティックの設定	25
	ネットワークの設定	26
	オートログイン／オートログアウトの設定	30
	管理者の設定	31
	オペレーターの登録・変更	32
	オペレーターの削除	33
	ファンクションレベルの変更	33
	オペレーターの設定を確認する	35

操作	操作	36
	PCと接続する	36
	PCソフトを操作する.....	36
<hr/>		
メンテナンス	メンテナンス	37
	ジョイスティック部の調整	37
	ズームボリュームの調整.....	40
	オールリセット	42
<hr/>		
その他	故障かな!?	43
	長期使用のお願い	44
	仕様.....	45
	Open Source Software	46
	保証とアフターサービス.....	47

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

 禁止	<p>■ 異物を入れない (水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。) ⇒直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。</p>
	<p>■ 不安定な場所に置かない (落下や転倒によるけがや事故の原因となります。)</p>
	<p>■ 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない 傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど (傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。) ⇒コードやプラグの修理は販売店に相談してください。</p>
	<p>■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない (たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。)</p>
	<p>■ 電源を入れたまま工事、配線をしない (火災や感電の原因となります。)</p>
	<p>■ 振動や強い衝撃を与えない (火災や感電の原因となります。)</p>
	<p>■ 湿気やほこりの多い場所に設置しない (火災や感電の原因となります。)</p>
	<p>■ 付属のACアダプター(極性統一型プラグ)以外は使用しない (付属のACアダプター以外を使用すると、電圧や+-の極性が異なっていることがあるため、発煙・火災の原因となります。)</p>
 分解禁止	<p>■ 分解しない、改造しない (火災や感電の原因となります。) ⇒修理や点検は、販売店に依頼してください。</p>
 接触禁止	<p>■ 雷が鳴りだしたら、本機や電源コード、接続したケーブルに触れない(工事時を含む) (感電の原因となります。)</p>
 ぬれ手禁止	<p>■ ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない (感電の原因となります。)</p>

警告



■ **工事は販売店に依頼する**

(工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。)
⇒必ず販売店に依頼してください。

■ **異常があるときは、すぐ使用をやめる**

(煙が出る、においがする、外部が劣化するなど、そのまま使用すると火災・落下によるけが、器物損壊の原因となります。)
⇒放置せずに直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。

■ **電源プラグのほこりなどは定期的にとる**

(プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。)
⇒電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■ **電源プラグは根元まで確実に差し込む**

(差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。)
⇒傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■ **電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く**

(コードが傷つき火災や感電の原因となります。)

はじめに

商品概要

WV-CU980（以下、本機）は、弊社製映像監視ソフトウェア（以下、PCソフト）がインストールされたパーソナルコンピュータ（以下、PC）にイーサネットで接続し、PCソフトを操作することができるシステムコントローラーです。本機は、PCソフト経由でネットワークカメラ（以下、カメラ）の映像切り換えやパン、チルト、ズーム操作を行うことができます。また、PCソフト経由でネットワークディスクレコーダー（以下、レコーダー）の録画や再生を行うことができます。

特長

優れた操作性

本体分離型ジョイスティックを搭載し、ジョイスティックの握り部分でズーム操作ができるので、PCソフト経由でカメラのパン、チルト、ズームを片手で簡単に操作できます。また、映像録画再生ボタンを搭載しており、PCソフト経由でレコーダーの録画再生操作を行うことができます。

ID、パスワードによる認証機能

ユーザー IDごとに操作権（ユーザーレベル）を設定でき、パスワードによって不正操作を防止します。

メニュー機能

ディスプレイ上の表示を見ながら、ボタン操作で本機の各種設定を行うことができます。

付属品をご確認ください

取扱説明書（本書）.....	1冊	ACアダプター	1個
保証書	1冊	電源コード	1本
透明シート※1	1枚	ケーブルクランプ.....	1個
コードラベル※2.....	1枚		

※1 別途用意されたボタン名称シートを押さえる場合、元のシートを外し、本シートの両面の保護フィルムをはがして使用します。

（PCソフトの機能が本機のボタン表示と異なるときに使用します）

※2 ネットワーク管理上、必要になる場合があります。紛失しないようご注意ください。

取扱説明書について

本機のソフトウェアバージョンアップによる機能追加などの情報についてはパナソニックサポートウェブサイト（https://sol.panasonic.biz/security/support/info_r.html）を参照してください。

本機は接続するPCソフトにより、使用できる機能や操作方法、ディスプレイの表示が異なります。本書は、本機をWV-ASM300（別売品）に接続したケースを例として、機能、操作、表示などを説明しています。

メモ

- 製品の改良などにより、ご使用上影響のない範囲で、記載されている外観などが実際の製品と異なる場合があります。

オープンソースソフトウェアについて

- 本製品にはBSDに基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。ライセンスは46ページをお読みください。
- なお、ソースコードの内容などについてのご質問にはお答えしかねますので、あらかじめご了承ください。

はじめに（つづき）

著作権について

BSDに基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアを除き、本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アSEMBル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングは禁じられています。また、本製品に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

免責について

- この商品は、弊社のシステム機器およびこれらの機器に接続された監視カメラを操作するシステムコントローラーです。この商品単独で、監視システムを構成するものではありません。この商品単独で犯罪などを防止するものではありません。
- 弊社は如何なる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
 - ①本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
 - ②お客様の誤使用や不注意による障害または本商品の破損などの不便・損害・被害
 - ③お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
 - ④本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、画像が表示・記録などできないことおよび記録した情報が消失したことで被る不便・損害・被害
 - ⑤第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
 - ⑥お客様による監視映像・記録が何らかの理由（ユーザー認証OFFでの使用を含む）により公となり、使用され、その結果生じた、被写体となった個人・団体などによるプライバシー侵害などを理由とする賠償請求、クレームなど
 - ⑦登録した情報内容が何らかの原因（ユーザー名、パスワードなどの認証情報を忘れたことにより本商品を初期化する場合を含む）により、消失してしまうこと

ネットワークに関するお願い

本商品はネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。

- ①本商品を経由した情報の漏えいや流出
- ②悪意を持った第三者による本商品の不正操作
- ③悪意を持った第三者による本商品の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本商品を使用する。
- コンピューターが接続されているシステムで本商品を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。
- 不正な攻撃から守るため、ユーザー認証を利用し、ユーザー名とパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限する。
- 管理者のパスワードは、定期的に変更する。また、認証情報（ユーザー名、パスワード）を第三者の目に触れないよう、適切に保管する。

はじめに（つづき）

設置上のお願い

設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。

本機は屋内専用です。

以下の場所には設置しないでください

- 直射日光の当たる場所
- 振動の多い場所や衝撃が加わる場所
- スピーカーやテレビ、磁石など、強い磁力を発生するものの近く
- スピーカーや大きい音を発する装置など、音圧による振動を発生するものの近く
- 結露しやすい場所、温度差の激しい場所、水気（湿気）の多い場所
- ちゅう房など蒸気や油分の多い場所
- 傾斜のある場所
- ほこりがたまりやすい場所
- 水滴や水しぶきがかかる場所

ゴム製品による硫化について

硫黄を含むゴム製品（パッキンやゴム足など）を本機の近傍や同じ収納ボックス内に設置しないでください。ゴム製品からの硫黄成分により、電気部品や端子などが硫化腐食し、不具合を発生するおそれがあります。

電源コードの取り付けかた

電源コードは、必ず遮断装置を経由した次のいずれかの方法で接続してください。

- 電源制御ユニットを経由して接続する。
- 容易にアクセス可能な電源コンセントの近くに設置し、電源プラグを経由して接続する。
- 3.0 mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは、保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。

本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しないでください

インターネットへの接続について

本機は電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆無線LANを含む）に直接接続することができません。本機をインターネットに接続する場合は、必ずルーターなどを経由し接続してください。

雷に対する保護について

ケーブル類を屋外で引き回す場合は、雷の影響を受けることがあります。その場合は、本機のすぐ近くに避雷器を設置し、雷の影響を受けないように、本機と避雷器間のネットワークケーブル長をできるだけ短くなるように配線してください。

ネットワークケーブルの配線について

外部施設からの屋外引き込みケーブルが直接接続されているネットワークに、本機を接続しないでください。

VCCIについて

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

はじめに（つづき）

使用上のお願い

使用電源

AC100 V 50 Hz / 60 Hzです。消費電力の大きな機器（コピー機、空調機器など）と同じコンセントから電源をとらないでください。また、水滴や水しぶきのかからない場所で使用してください。

※付属のACアダプターおよび電源コードは本機専用です。他の機器には使用しないでください。また、他の機器のACアダプターや電源コードを本機に使用しないでください。

電源について

本機には電源スイッチがありません。本機を電源から遮断するときは電源コードを抜いてください。ACコンセントは本機の近傍に設置し、容易に電源プラグを抜き差しできるようにしてください。設置条件により容易に電源コードを外せないときは、本機の電源コードを遮断能力のある分電盤のサーキットブレーカーを経由したACコンセントに接続してください。

結露について

結露が発生すると故障の原因となりますのでご注意ください。以下のような場合は、目安として電源を入れるまで2時間程度放置してください。

- 湿度の高いところ
- 暖房した直後の部屋
- 冷房されているところと、温度や湿度の高いところを移動したとき

お手入れについて

- 電源を切り、乾いた柔らかい布でふいてください。
- シンナーやベンジンなど、揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

表示について

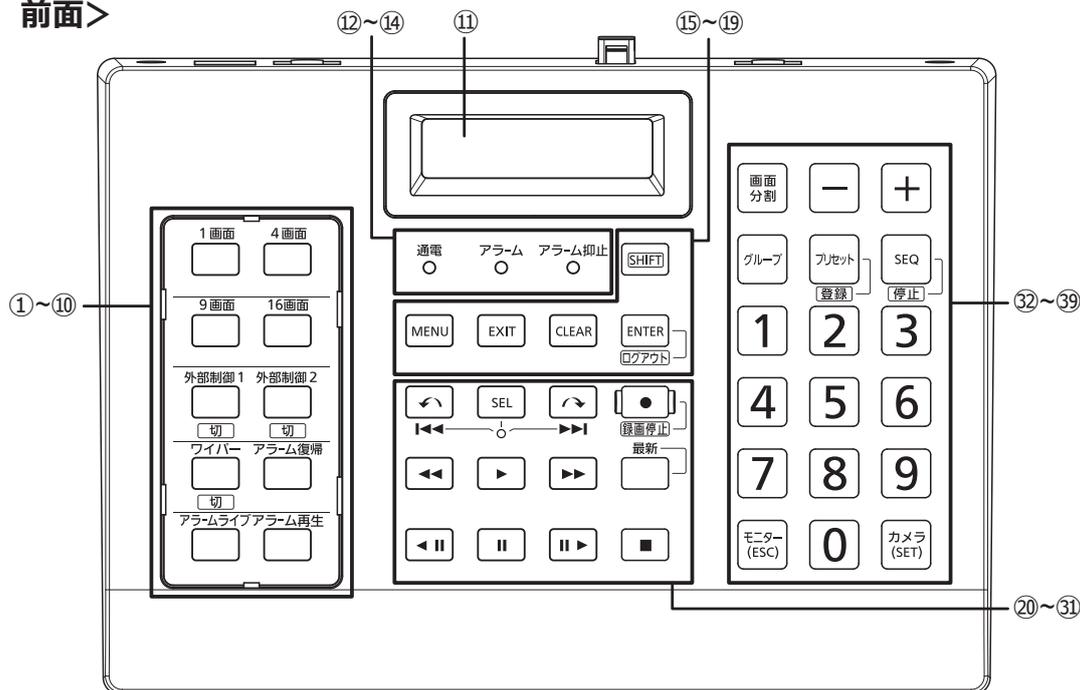
本機の識別および電源、その他の表示は機器底面をご覧ください。

機器を譲渡・廃棄される場合について

本機に記録された設定情報の漏えいは、不正なアクセス・攻撃による被害につながる場合があります。本機が廃棄、譲渡、修理などで第三者に渡る場合には、その取り扱いに十分に注意し、お客様の責任において廃棄、譲渡、修理を行なってください。

各部の名前と働き

<本体部 前面>



接続するPCソフトにより、使用できる機能やディスプレイの表示は異なります。以下の説明は本機を WV-ASM300（別売品）に接続し、WV-ASM300経由でレコーダーやカメラを操作する例です。

- | | | | | | |
|---|-------------|--|---|------------|--|
| ① | 1画面
 | 【1画面】ボタン
操作モニターを1画に切り換えます。 | ⑫ | 通電
 | 【通電】ランプ
電源が入っているときに点灯します。 |
| ② | 4画面
 | 【4画面】ボタン
操作モニターを4画に切り換えます。 | ⑬ | アラーム
 | 【アラーム】ランプ ※1
アラームが発生したときに点滅します。アラームが自動的に解除されると点灯に変わります。 |
| ③ | 9画面
 | 【9画面】ボタン
操作モニターを9画に切り換えます。 | ⑭ | アラーム抑止
 | 【アラーム抑止】ランプ ※1
アラームを抑止しているときに点灯します。 |
| ④ | 16画面
 | 【16画面】ボタン
操作モニターを16画に切り換えます。 | ⑮ | | 【SHIFT】ボタン
ボタンの下側に表示した機能に切り換えるときに使用します。 |
| ⑤ | 外部制御1
 | 【外部制御1 / 切】ボタン
AUX1をONにします。
(SHIFT) を押しているとき) AUX1をOFFにします。 | ⑯ | | 【MENU】ボタン
メニュー機能一覧を表示します。 |
| ⑥ | 外部制御2
 | 【外部制御2 / 切】ボタン
AUX2をONにします。
(SHIFT) を押しているとき) AUX2をOFFにします。 | ⑰ | | 【EXIT】ボタン
設定中に、設定内容を確認せずに戻るときに使用します。 |
| ⑦ | ワイパー
 | 【ワイパー / 切】ボタン
ワイパーを動かします。
(SHIFT) を押しているとき) ワイパーを止めます。 | ⑱ | | 【CLEAR】ボタン
テンキーで入力した値をクリアします。 |
| ⑧ | アラーム復帰
 | 【アラーム復帰】ボタン
アラームをリセットします。 | ⑲ | | 【ENTER / ログアウト】ボタン
PCソフト上の決定を実行します。(PCのキーボードで [Enter] キーを押す操作と同じ)
(SHIFT) を押しているとき) 本機からログアウトします。 |
| ⑨ | アラームライブ
 | 【アラームライブ】ボタン
アラームライブ映像を表示します。 | | | |
| ⑩ | アラーム再生
 | 【アラーム再生】ボタン
アラーム映像を再生します。 | | | |
| ⑪ | ディスプレイ | ログイン画面、本体設定画面、メンテナンスでの操作画面などを表示します。 | | | |

※1 未サポートです。(2019年11月現在)

各部の名前と働き（つづき）

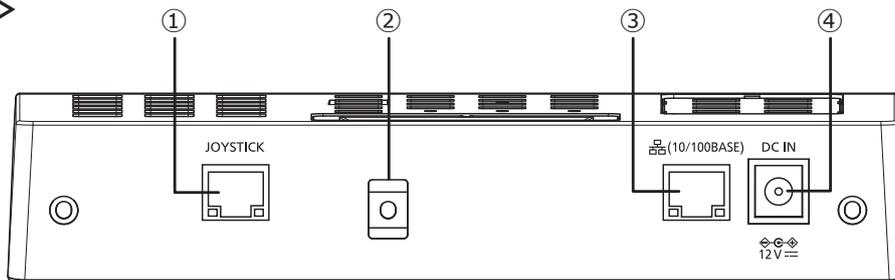
- ⑳  **【逆ジャンプ/逆スキップ】ボタン**^{※1}
レコーダーの再生中に逆ジャンプをします。
(**[SEL]** を押してSEL中の状態 (SELランプ点滅) のとき) レコーダーの再生中に逆スキップをします。
- ㉑  **【SEL】ボタン、【SEL】ランプ**
レコーダーの再生中に、ジャンプ/スキップ (逆ジャンプ/逆スキップ) の動作を切り換えるときに使用します。
[SEL] を押すとSEL中の状態となり**[SEL]**ランプが点滅し、もう一度押すとSEL中の状態が解除され**[SEL]**ランプが消灯します。
- ㉒  **【ジャンプ/スキップ】ボタン**^{※1}
レコーダーの再生中にジャンプをします。
(**[SEL]** を押してSEL中の状態 (SELランプ点滅) のとき) レコーダーの再生中にスキップをします。
- ㉓  **【録画/録画停止】ボタン**^{※2}
レコーダーの録画を開始します。
(**[SHIFT]** を押しているとき) レコーダーの録画を停止します。
- ㉔  **【早戻し】ボタン**
レコーダーの再生中に早戻し再生をします。
- ㉕  **【再生】ボタン**
レコーダーの再生を開始します。
- ㉖  **【早送り】ボタン**
レコーダーの再生中に早送り再生をします。
- ㉗  **【最新】ボタン**
レコーダーの最新映像を再生します。
- ㉘  **【コマ戻し】ボタン**
レコーダーの再生一時停止中に、コマ戻し再生をします。
(本体設定中) 画面の切り替えや設定値の増減などをします。
- ㉙  **【一時停止】ボタン**
レコーダーの再生を一時停止します。
- ㉚  **【コマ送り】ボタン**
レコーダーの再生一時停止中に、コマ送り再生をします。
(本体設定中) 画面の切り替えや設定値の増減などを行います。
- ㉛  **【停止】ボタン**
レコーダーの再生を停止するときに使用します。
- ㉜  **【画面分割】ボタン**
画面分割して1台のモニターに複数のカメラ映像を表示するときに使用します。
- ㉝  **【-】ボタン / 【+】ボタン**
カメラ番号を増減させて映像を切り替えます。
(本体設定中)一部の設定で、数値を増減します。
- ㉞  **【グループ】ボタン**
グループ番号を入力するときに使用します。
- ㉟  **【プリセット/登録】ボタン**
カメラのプリセットポジションやホームポジションを呼び出すときに使用します。
(**[SHIFT]** を押しているとき) カメラのプリセットポジションを登録します。
- ㊱  **【SEQ / 停止】ボタン**
シーケンス番号を入力してシーケンス動作を開始するときに使用します。
(**[SHIFT]** を押しているとき) シーケンス動作を停止します。
- ㊲  **【0】 ~ 【9】 ボタン (テンキー)**
カメラ番号、グループ番号、シーケンス番号などを入力するときに使用します。
- ㊳  **【モニター (ESC)】ボタン**
設定中に、設定内容を確定せずに戻るときに使用します。
PCソフト上のキャンセルを実行します。
(PCのキーボードで**[ESC]**キーを押す操作と同じ)
- ㊴  **【カメラ (SET)】ボタン**
カメラを選択するときに使用します。
設定中に、設定項目を決定したり選択したりするときに使用します。

※1 機能詳細はWV-ASM300の取扱説明書を参照してください。

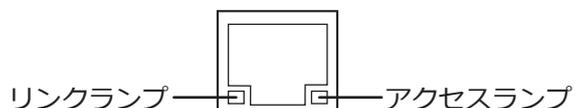
※2 本機能はNVシリーズ、NXシリーズのレコーダーには対応しておりません。(2019年11月現在)

各部の名前と働き (つづき)

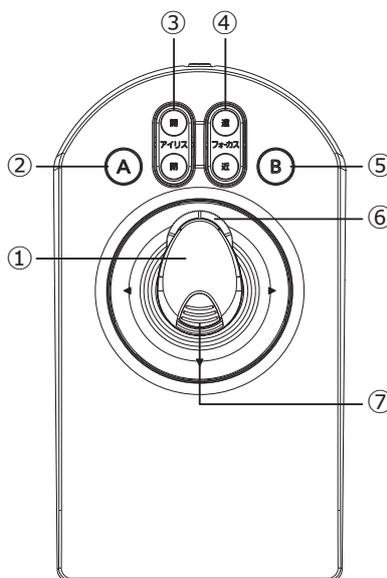
<本体部 後面>



- ① **ジョイスティック部接続端子 [JOYSTICK]**
ジョイスティック部を接続します。
- ② **クランプマウント**
ケーブルクランプ (付属品) を通して、ACアダプターのDCケーブルを固定します。(☞15ページ)
- ③ **RJ45ネットワーク端子 [10/100BASE]**
10BASE-Tまたは100BASE-TX ネットワークに接続し、本機とPCソフトがインストールされたPCを接続します。
アクセス中はアクセスランプ (緑色) が点滅します。
リンク中はリンクランプ (橙色) が点灯します。
- ④ **電源接続端子 [DC IN]**
付属のACアダプターのDCプラグを接続します。
緩んだり抜けたりしないよう、DCプラグは奥まで差し込んでください。



<ジョイスティック部>



- ① **ジョイスティック**
カメラをパン・チルトするときを使用します。
一部の設定項目のカーソル移動にも使用できます。
 - ② **[A] ボタン**
あらかじめ割り当てられた機能*1を実行します。
 - ③ **[アイリス開/閉] ボタン**
カメラの絞りを調節します。
 - ④ **[フォーカス遠/近] ボタン**
カメラのフォーカスを調節します。
 - ⑤ **[B] ボタン**
あらかじめ割り当てられた機能*2を実行します。
 - ⑥ **ズームボリューム**
カメラのズームを調節します。
 - ⑦ **トップボタン**
あらかじめ割り当てられた機能*3を実行します。
- ※1 自動モード開始
※2 自動モード終了
※3 自動追尾開始、あるいはオートフォーカス実行

操作を始める前に

ディスプレイ表示について

運用画面

接続するPCソフトにより、運用中の表示画面は異なる場合があります。詳しくは、接続するPCソフトの取扱説明書をお読みください。

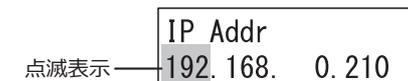
メニュー機能選択画面



- ①機能番号
選択しているメニューの機能番号が表示されます。
- ②機能名称
選択しているメニューの機能名称が表示されます。
詳しくは、「設定メニュー一覧」(21ページ)をお読みください。

点滅表示について

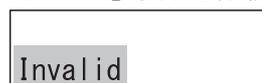
本書では、点滅表示を  で記載しています。



ディスプレイ表示のエラーメッセージについて

「Invalid」表示

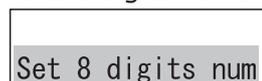
ログインのときに、ユーザー IDまたはパスワードを間違えて入力すると「Invalid」が点滅表示されます。「Invalid」表示は数秒後に自動的に消えます。



「Set 8 digits num」表示

管理者IDやパスワードなどを登録するときに、8桁の数字以外を入力すると「Set 8 digits num」が点滅表示されます。

「Set 8 digits num」表示は数秒後に自動的に消えます。



「Out Of Range」表示

ネットワーク設定でIPアドレスなどを登録するときに、0～255の数値以外を入力すると「Out Of Range」が点滅表示されます。

「Out Of Range」表示は数秒後に自動的に消えます。



「Passwd Mismatch」表示

管理者パスワードを登録する際に入力する1回目と2回目のパスワードが違くと「Passwd Mismatch」が点滅表示されます。

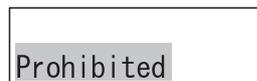
「Passwd Mismatch」表示は数秒後に自動的に消えます。



「Prohibited」表示

本機のユーザー管理機能（ファンクションレベル）で制限された操作を行った場合、「Prohibited」が点滅表示されます。

「Prohibited」表示は数秒後に自動的に消え、ディスプレイは運用画面に戻ります。



操作を始める前に（つづき）

操作の表記について

以下に、本機の設定や操作などで使用するボタンやジョイスティックのアイコン（イラスト）について説明します。

(1) ジョイスティック

ジョイスティック イラスト	本書での表記	操作説明
		ジョイスティックを上下*1左右どちらかの方向に倒します。
		ジョイスティックを上下*1どちらかの方向に倒します。
		ジョイスティックを左右どちらかの方向に倒します。
		ジョイスティックを左の方向に倒します。
		ジョイスティックを右の方向に倒します。
		ジョイスティックのトップボタンを押します。
		ズームボリュームを左右どちらかの方向に回します。
		ズームボリュームを左（反時計方向）に回します。
		ズームボリュームを右（時計方向）に回します。

*1 カメラの操作ではなく、単独でジョイスティックを操作するときは、「上下」を「前後」に読み換えてください。

(2) ボタン/ランプについて

個々のボタンやランプについては、それぞれのボタン/ランプ形状をアイコンにしています。

例（ボタン）：

例（ランプ）： ランプ名
ランプ (LED)

（シフトボタン）を押すことにより機能が切り換わるボタンについては、両方の機能表示を記載しています。

例：
(シフトボタン) と同時に押したときの機能

と同時に押したときの操作説明では、下側の機能表記（四角枠付き）を押したことになります。

複数のボタンの同時押し操作は「+」で表示しています。

例： +

（SELボタン）を押してSEL中の状態（SELランプ点滅）のときに機能が切り換わるボタンについては、両方の機能表示を記載しています。SEL中の状態で、ボタンを押すと下側に記載された機能が実行されます。

例： SEL ボタン
 SEL ランプ
SEL 中の状態（SEL ランプ点滅）のときに押したときの機能

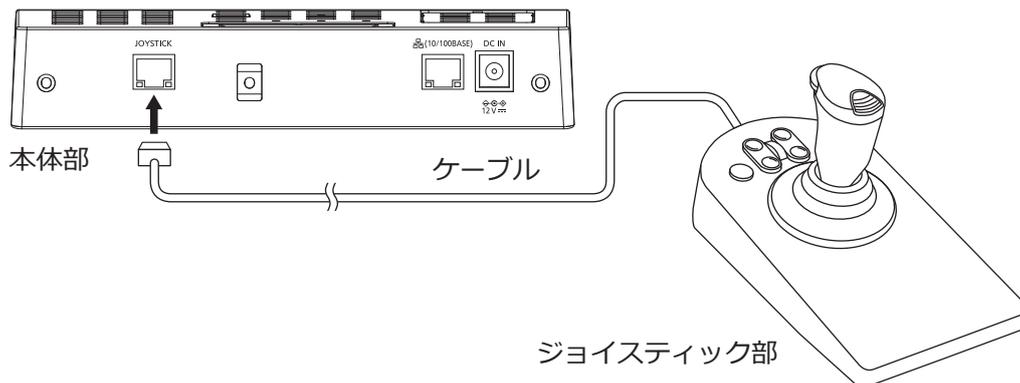
操作を始める前に（つづき）

ジョイスティックの接続

ジョイスティック部のケーブルを、本体部後面のジョイスティック部接続端子 [JOYSTICK] に接続します。

重要

- 本体部とジョイスティック部の底面に「シリアルNo.ラベル」が貼られています。「シリアルNo.ラベル」に記載された番号が同一の本体部とジョイスティック部を接続してください。

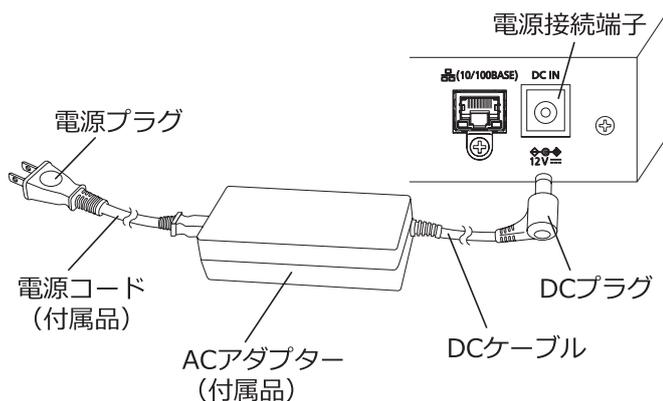


ACアダプターの接続

ACアダプター（付属品）に電源コード（付属品）を接続し、本体部後面の電源接続端子にACアダプターのDCプラグを接続します。

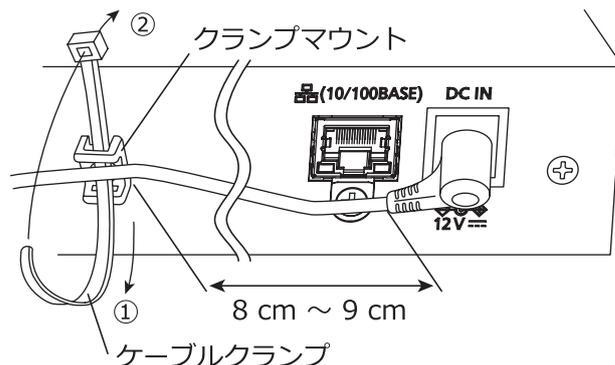
重要

- 緩んだり抜けたりしないよう、DCプラグは電源接続端子の奥まで差し込んでください。
- DCプラグの抜け防止のため、DCケーブルを付属のケーブルクランプで確実に固定してください。



DCプラグの抜け防止方法

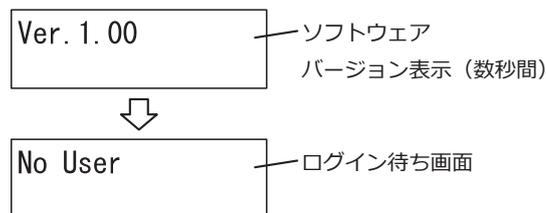
- ① クランプマウントの上側の穴にケーブルクランプ（付属品）を通します。
- ② ケーブルクランプでDCケーブルを仮固定します。
- ③ DCプラグから8 cm ~ 9 cm のところでケーブルクランプを締め上げて、DCケーブルを固定します。ケーブルクランプの余った部分は必要に応じて切断してください。



操作を始める前に（つづき）

電源の入れかた

❶ ACアダプターの電源プラグをAC100 V 50 Hz / 60 Hzの電源コンセントに差し込みます
→ [通電]ランプが点灯し、ディスプレイにはソフトウェアバージョン、ログイン待ち画面の順に表示されます。



❷ 本機を初めて使用する場合や、「オールリセット」を実行したときは、ソフトウェアバージョン表示の後に初期登録開始画面が表示されます

Initial Setup
Start?

「初回セットアップ」の「初期登録」を行ってください。（☞17ページ）

電源の切りかた

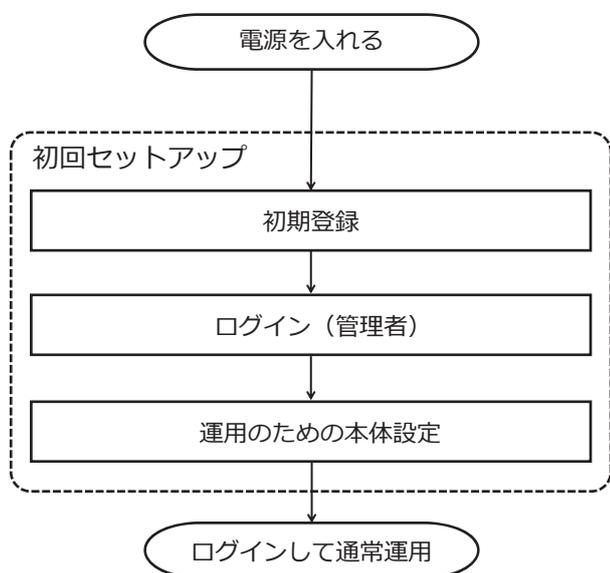
❶ ログアウトします
操作方法は「初回セットアップ」の「ログアウト」をお読みください（☞19ページ）

❷ 電源プラグを電源コンセントから抜きます
→電源が切れると、[通電]ランプが消灯します。

基本的な操作の流れ

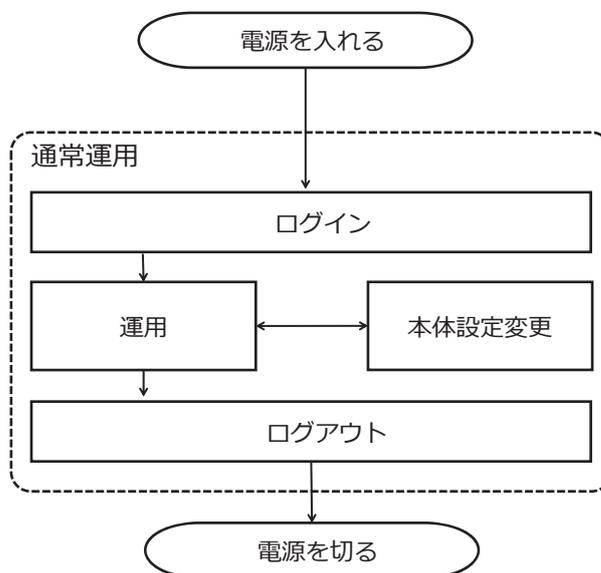
初回セットアップ

本機を初めて使用する場合や、オールリセット（☞42ページ）を実行し、本体設定を初期状態にリセットした後に必要な設定です。



通常運用

本機の通常運用の操作です。



操作を始める前に（つづき）

初回セットアップ

本機を初めて使用する場合は、「オールリセット」（☞42ページ）を実行し本体設定を初期状態にリセットした後に必要な設定です。

初期登録

管理者ID、パスワード、接続するPCソフトとの通信用キー（☞29ページ）を登録します。

重要

- セキュリティ確保のため、第三者に容易に推測されにくいID、パスワード、通信用キーを設定してください。
- 設定したID、パスワード、通信用キーは忘れないように注意し、第三者の目に触れないよう適切に管理してください。
- パスワードは定期的に変更してください。

メモ

- 管理者IDやパスワード、通信用キーは8桁固定の数字です。
- 管理者IDやパスワード、通信用キーの数字入力を訂正する場合は、 を押して入力した数字を消去してください。
- 誤った設定（数字8桁以外）を行い、 を押すと、「Set 8 digits num」が数秒間表示され、直前の入力画面に戻ります。8桁の数字を入力してください。
- 各入力画面で、 または  を押すと、1つ前の画面に戻ります。

1 電源を入れると初期登録開始画面が表示されます

Initial Setup
Start?

2 を押します

管理者IDの設定画面が表示されます。

AdminID

3 管理者IDをテンキーで入力します

管理者IDは、00000000～99999999の間（数字8桁）で設定できます。

AdminID 12345678

4 を押します

管理者パスワードの入力画面が表示されます。

AdminID 12345678
Passwd

5 管理者パスワードをテンキーで入力します

管理者パスワードは、00000000～99999999の間（数字8桁）で設定できます。

入力したパスワードは「*」で表示されます。

AdminID 12345678
Passwd *****

6 を押します

メッセージ「Passwd Re-enter」が数秒間表示され、再度、管理者パスワードの入力画面が表示されます。

AdminID 12345678
Passwd

7 手順5で入力した管理者パスワードを再度入力します

AdminID 12345678
Passwd *****

8 を押します

接続相手との通信用キーの入力画面が表示されます。手順5と手順7で入力した管理者パスワードが異なる場合、エラーメッセージ「Passwd Mismatch」が数秒間表示され、手順2の画面に戻ります。

Communicat Key

9 接続相手との通信用キーをテンキーで入力します

接続相手との通信用キーは、00000000～99999999の間（数字8桁）で設定できます。

Communicat Key
12345678

操作を始める前に（つづき）

⑩ を押します

設定確認画面が表示されます。

Initial Setup
Set?

⑪ を押します

設定登録画面が数秒間表示されます。
その後、ログイン待ち画面へ遷移します。

Initial Setup
Memory

ログイン（管理者）

初期登録で登録した管理者ID、パスワードを用いてログインします。

⑫ 初期登録が完了するとログイン待ち画面が表示されます

No User

⑬ パスワードをテンキーで入力します

ここでは、パスワードとして初期登録で登録した管理者パスワードを入力します。

入力したパスワードは「*」で表示されます。

User ID 12345678
Passwd *****

⑭ を押します

ユーザー ID入力画面が表示されます。

User ID

⑮ を押します

ログイン成功のメッセージ「Login OK」が数秒間表示され、ログイン状態になります。

誤ったユーザー IDまたはパスワードを入力した場合は、「Invalid」が数秒間表示され、ログイン待ち画面に戻ります。

Login OK

メモ

- 手順1の後、テンキー入力で、すぐにユーザー IDを入力することもできます。

⑯ ユーザー IDをテンキーで入力します

ここでは、ユーザー IDとして初期登録で登録した管理者IDを入力します。

入力したユーザー IDがディスプレイに表示されます。

User ID 12345678

⑰ PCソフト接続中画面が表示されます

PCソフトとの接続が完了すると、運用画面表示に切り替わります。

Connecting to
Server ...

⑱ を押します

パスワード入力画面が表示されます。

User ID 12345678
Passwd

ここでは、まだ本体設定前のため、「Connecting to Server ...」画面が表示されたままになります。

運用のための本体設定

運用のために必要な本体設定を行います。

- ディスプレイ／ブザーの調整
- ジョイスティックの設定
- ネットワークの設定
- オートログイン／オートログアウトの設定
- オペレーター登録・変更
- ファンクションレベルの変更

操作手順

本体設定はメニュー機能を使って行います。詳細は、「設定メニューの使い方」（☞21ページ）をお読みください。

操作を始める前に（つづき）

ログアウト

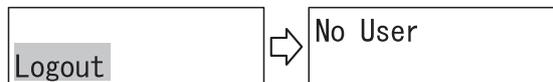
ログアウトします。

操作手順

1 ログイン状態のときに **SHIFT** + **ENTER** を押します



ログアウトのメッセージ「Logout」が数秒間表示され、ログイン待ち画面に移ります。



メモ

- メニュー機能を使用中の場合は、ログアウトできません。メニュー機能を終了した後にログアウトしてください。

通常運用

運用を開始します。

運用開始前に、接続するPCソフトを起動し、本機からの操作ができる状態にしてください。詳しくは、接続するPCソフトの取扱説明書をお読みください。また、PCとの接続については、「PCと接続する」(☞36ページ)を参照してください。

ログイン

初回セットアップ（または運用中の本体設定変更）で登録したオペレーターのユーザー ID、パスワード（または管理者ID、パスワード）を用いてログインします。

操作手順

詳細は、「初回セットアップ」での「ログイン（管理者）」(☞18ページ)をお読みください。入力するユーザー ID、パスワードが、ログインするオペレーターのユーザー ID、パスワード（または管理者ID、パスワード）になります。

<オートログイン設定にした場合>

1 電源を入れると、ディスプレイに「Auto Login」、ログインするオペレーターのユーザー ID（または管理者ID）が数秒間表示され、ログイン状態になります

Auto Login
User ID 12345678

運用

ログインが成功し、PCソフトとの接続が完了すると、運用画面表示に切り替わります。本機に搭載されたボタンやジョイスティックを使って、接続するPCソフトを操作します。

操作手順

詳細は、PCソフトの取扱説明書をお読みください。

本体設定変更

運用のために必要に応じて本体設定を変更します。オペレーターのユーザー ID、パスワードでログインしている場合に、一部の設定では設定画面に移る前に、管理者IDとパスワードの入力が必要となります。

操作手順

本体設定はメニュー機能を使って行います。詳細は、「設定メニューの使い方」(☞21ページ)をお読みください。

ログアウト

ログアウトします。

操作手順

詳細は、「初回セットアップ」での「ログアウト」(☞本ページ)をお読みください。

メモ

- メニュー機能を使用中の場合は、ログアウトできません。メニュー機能を終了した後にログアウトしてください。

本体設定

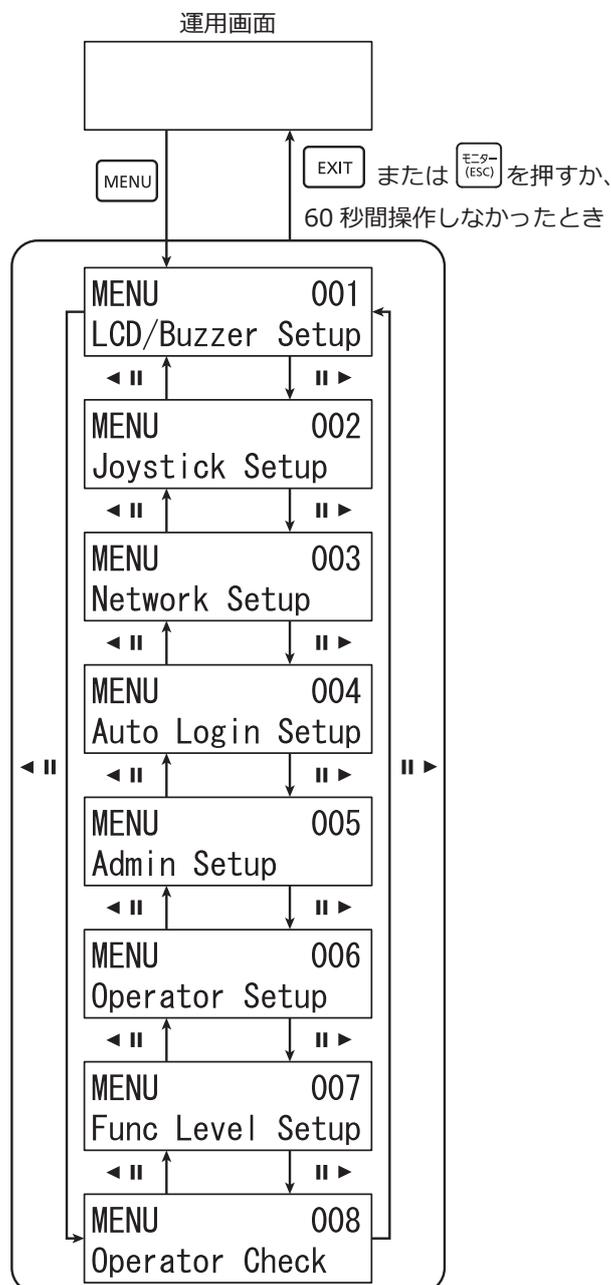
設定メニューについて

本機は、設定メニューにより各種設定を行うことができます。設定メニューは、ディスプレイに表示され、ボタンやジョイスティックで操作します。

設定メニュー画面の流れ

運用画面で **MENU** を押すと、設定メニュー画面が表示されます。設定メニュー画面で **EXIT** または **モニター (ESC)** を押すか、60秒間操作しなかったときは運用画面に戻ります。

以下に画面の移り変わりを示します。



本体設定（つづき）

設定メニュー一覧

機能番号	ディスプレイ表示	機能説明
001	MENU 001 LCD/Buzzer Setup	ディスプレイ調整（輝度、コントラスト）、アラーム音、ボタン操作音設定を行います。
002	MENU 002 Joystick Setup	ジョイスティック操作方向（上下、左右）の設定を行います。
003	MENU 003 Network Setup	ネットワーク設定（本機のIPアドレス/サブネットマスク/デフォルトゲートウェイ、接続相手のIPアドレス、接続相手との通信モード/通信用キー）を行います。管理者IDでのログインが必要です。
004	MENU 004 Auto Login Setup	オートログイン、オートログアウト設定を行います。管理者IDでのログインが必要です。
005	MENU 005 Admin Setup	管理者（管理者ID、パスワード）設定を行います。管理者IDでのログインが必要です。
006	MENU 006 Operator Setup	オペレーターの新規登録（最大16ユーザー）、登録済みユーザーのパラメータ（ユーザー ID、パスワード、ファンクションレベル）変更、削除を行います。管理者IDでのログインが必要です。
007	MENU 007 Func Level Setup	ファンクションレベル（オペレーターが利用できる本体操作に対する制限）の設定（3レベル）を行います。管理者IDでのログインが必要です。
008	MENU 008 Operator Check	登録済オペレーター設定（ユーザー ID、パスワード）の確認を行います。管理者IDでのログインが必要です。

設定メニューの使い方

設定メニューの使い方について説明します。

操作手順

1 **MENU** を押します

設定メニューの選択画面が表示されます。

機能名称 **MENU 001** 機能番号
LCD/Buzzer Setup

2 設定したいメニューを選択します

◀ または **▶** でメニューを選択します。

MENU 002
Joystick Setup

3 **カメラ (SET)** を押します

メニューの設定画面が表示されます。

U/D Reverse
Off

メモ

- 設定画面で、**EXIT** または **モニター (ESC)** を押すと、1つ前の画面に戻ります。

MENU 002
Joystick Setup

本体設定（つづき）

4 選択したメニューで設定を行います

操作方法はメニューによって異なります。詳しくは、選択したメニューの説明をお読みください。

メモ

- 設定のとき誤った数字を入力した場合は、を押して数字を消去してください。

5 または を押します

運用画面に戻ります。

メニュー機能によっては、管理者のみ実行できるものがあります。

ログイン中のユーザーが管理者でないときは、メニュー機能の実行画面が表示される前（手順3）に、以下の手順で、管理者ID、パスワードの入力が必要になります。

1 管理者ID入力画面が表示されます



2 管理者IDをテンキーを使って入力します

入力した管理者IDがディスプレイに表示されます。



3 を押します

パスワード入力画面が表示されます。



4 管理者パスワードをテンキーを使って入力します

入力したパスワードは「*」で表示されます。



5 を押します

メニュー機能の実行画面が表示されます。

誤った管理者IDまたはパスワードを入力した場合は、「Invalid」が数秒間表示され、メニュー機能の選択画面に戻ります。正しい管理者ID、パスワードを入力してください。

ディスプレイ／ブザーの調整

ディスプレイの輝度とコントラスト調整、およびアラーム音、ボタン入力時のブザー音の設定手順を以下に示します。

設定項目選択

設定項目を選択します。

1 設定メニューから「001 LCD/Buzzer Setup」を選択します（☞21ページ手順1～2）



2 を押します

ディスプレイ輝度調整表示画面が表示されます。



3 または を押して設定項目を切り換えます

 または  を押すごとに、ディスプレイ輝度調整、ディスプレイコントラスト調整、アラーム音設定、ボタン入力時のブザー音設定の画面表示が切り換わります。

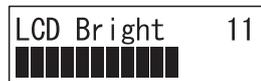
4 調整する設定項目を選択し、 を押します

本体設定（つづき）

ディスプレイ輝度調整

ディスプレイの明るさを調整します。

1 メニューから「LCD Bright」を選択します



現在の輝度を表す数値と、レベル・バーが表示されます。
初期値：11

2 を押します

ディスプレイ輝度調整表示画面が表示されます。



3 または で輝度を調整します

 で数値が大きくなるほど明るく、 で数値が小さくなるほど暗くなります。

設定範囲：1～16



ディスプレイコントラスト調整

ディスプレイのコントラストを調整します。

1 メニューから「LCD Contrast」を選択します



現在のコントラストを表す数値と、レベル・バーが表示されます。
初期値：7

2 を押します

ディスプレイコントラスト調整表示画面が表示されます。



3 または でコントラストを調整します

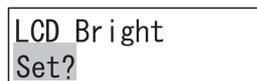
 で数値が大きくなるほど薄く、 で数値が小さくなるほど濃くなります。

設定範囲：1～16



4 を押します

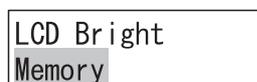
設定確認画面が表示されます。



5 を押します

設定登録画面が数秒間表示されます。

その後、設定値が保存され、手順1の画面に戻ります。



メモ

-   でも数値を増減できます。

4 を押します

設定確認画面が表示されます。



5 を押します

設定登録画面が数秒間表示されます。

その後、設定値が保存され、手順1の画面に戻ります。



メモ

-   でも数値を増減できます。

本体設定（つづき）

アラーム音の設定

アラーム発生時にアラーム音が鳴る※1時間を変更します。

1 メニューから「Buzzer Alarm」を選択します

Buzzer Alarm
2s

現在のアラーム音設定が表示されます。
初期値：2s（2秒）

2 を押します

アラーム音設定画面が表示されます。

Buzzer Alarm
2s

3 または でアラーム音が鳴る時間を調整します

 で数値が大きく、 で数値が小さくなります。
設定範囲: Off、1s（1秒）～30s（30秒）、40s（40秒）、
50s（50秒）、60s（60秒）です。

Buzzer Alarm
20s

4 を押します

設定確認画面が表示されます。

Buzzer Alarm
Set?

5 を押します

設定登録画面が数秒間表示されます。
その後、設定値が保存され、手順1の画面に戻ります。

Buzzer Alarm
Memory

※1 未サポートです。（2019年11月現在）

ボタン操作音の設定

ボタンの操作音、および「Invalid」、「Prohibited」表示などのエラーメッセージが表示されたときにエラー音を鳴らすかどうかを設定します。

1 メニューから「Buzzer Operation」を選択します

Buzzer Operation
On

現在のボタン操作音の設定が表示されます。
初期値：On

2 を押します

ボタン操作音設定画面が表示されます。

Buzzer Operation
On

3 または でボタン操作音のOn / Offを変更します

Buzzer Operation
Off

4 を押します

設定確認画面が表示されます。

Buzzer Operation
Set?

5 を押します

設定登録画面が数秒間表示されます。
その後、設定値が保存され、手順1の画面に戻ります。

Buzzer Operation
Memory

本体設定（つづき）

ジョイスティックの設定

ジョイスティックを操作してPCソフトに設定されたカメラをパン・チルトするときの、操作する方向とカメラ映像の動く方向（上下、左右）を反転するかどうかの設定手順を以下に示します。

設定項目選択

操作手順

- 1 設定メニューから「002 Joystick Setup」を選択します（☞21ページ手順1～2）

MENU 002
Joystick Setup

- 2  を押します

ジョイスティック上下操作反転設定表示画面が表示されます。

U/D Reverse
Off

- 3  または  を押して、変更したい設定項目を選択します

 または  を押すごとに、ジョイスティック上下操作反転設定、ジョイスティック左右操作反転設定が切り換わります。

- 4  を押します

メニュー機能の実行画面が表示されます。

ジョイスティック上下操作反転設定

ジョイスティックを操作してPCソフトに設定されたカメラをチルトするときの、操作する方向とカメラ映像の動く方向（上下）を反転するかどうかを設定します。

- 設定をOff（反転しない）にすると、ジョイスティックを倒す方向とカメラ映像の動く方向は同じになります。
- 設定をOn（反転する）にすると、ジョイスティックを倒す方向とカメラ映像の動く方向は反対になります。

操作手順

- 1 メニューから「U / D Reverse」を選択します

U/D Reverse
Off

現在のジョイスティック上下操作反転設定が表示されます。

初期値：Off（反転しない）

- 2  を押します

ジョイスティック上下操作反転設定画面が表示されます。

U/D Reverse
Off

- 4  を押します

設定確認画面が表示されます。

U/D Reverse
Set?

- 5  を押します

設定登録画面が数秒間表示されます。

その後、設定値が保存され、手順1の画面に戻ります。

U/D Reverse
Memory

- 3  または  でジョイスティック上下操作反転のOn / Offを変更します

U/D Reverse
On

本体設定（つづき）

ジョイスティック左右操作反転設定

ジョイスティックを操作してPCソフトに設定されたカメラをパンするときの、操作する方向とカメラ映像の動く方向（左右）を反転するかどうかを設定します。

- 設定をOff（反転しない）にすると、ジョイスティックを倒す方向とカメラ映像の動く方向は同じになります。
- 設定をOn（反転する）にすると、ジョイスティックを倒す方向とカメラ映像の動く方向は反対になります。

操作手順

1 メニューから「L / R Reverse」を選択します

L/R Reverse
Off

現在のジョイスティック左右操作反転設定が表示されます。

初期値：Off（反転しない）

2  を押します

ジョイスティック左右操作反転設定画面が表示されます。

L/R Reverse
Off

3  または  でジョイスティック左右操作反転のOn / Offを変更します

L/R Reverse
On

4  を押します

設定確認画面が表示されます。

L/R Reverse
Set?

5  を押します

設定登録画面が数秒間表示されます。

その後、設定値が保存され、手順1の画面に戻ります。

L/R Reverse
Memory

ネットワークの設定

ネットワーク設定手順を以下に示します。

重要

- ネットワークの設定を変更して終了すると、数秒間「Auto Restart」が表示された後再起動し、ログイン画面が表示されます。

設定項目選択

操作手順

1 設定メニューから「003 Network Setup」を選択します（☞21ページ手順1～2）

MENU 003
Network Setup

2  を押します

本機のIPアドレス設定表示画面が表示されます。

IP Addr
192.168. 0.210

3  または  を押して、変更したい設定項目を選択します。

 または  を押すごとに、本機のIPアドレス設

定、サブネットマスク設定、デフォルトゲートウェイ設定、接続相手のIPアドレス設定、接続相手との通信モード設定、接続相手との通信用キー設定の画面表示が切り換わります。

4  を押します

メニュー機能の実行画面が表示されます。

ログイン中のユーザーが管理者でないときは、本機のIPアドレス設定表示画面が表示される前（手順2）に、管理者ID入力画面が表示され、管理者ID、パスワードの入力が必要になります。

入力方法は、「設定メニューの使い方」（☞21ページ）を参照してください。

本体設定（つづき）

IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの共通操作

数値入力

IP Addr
192.168. 0.210

点滅した箇所を変更できます。

修正したい数字にカーソルを合わせ、テンキーで入力すると数字が変更されます。

カーソルは  または  で左右に移動します。

nnnには0～255の数値を入力してください。

数値は   で増減できます。

本機のIPアドレス設定

本機のIPアドレスを設定します。

操作手順

- ❶ メニューから「IP Addr」を選択します

IP Addr
192.168. 0.210

現在のIPアドレスが表示されます。

初期値：192.168.0.210

- ❷  を押します

IPアドレス設定画面が表示されます。

IP Addr
192.168. 0.210

- ❸ テンキーでIPアドレス（nnn.nnn.nnn.nnn）を入力します

エラーメッセージ

誤った数値（0～255以外）が入力された場合、「Out Of Range」が数秒間表示され、直前の設定画面に戻ります。正しい数値（0～255）を入力してください。

- ❹  を押します

IPアドレスが正しく入力されると設定確認画面が表示されます。

IP Addr
Set?

- ❺  を押します

設定登録画面が数秒間表示されます。

その後、設定値が保存され、手順1の画面に戻ります。

IP Addr
Memory

本機のサブネットマスク設定

本機のサブネットマスクを設定します。

操作手順

- ❶ メニューから「Subnet Mask」を選択します

Subnet Mask
255.255.255. 0

現在のサブネットマスクが表示されます。

初期値：255.255.255.0

- ❷  を押します

サブネットマスク設定画面が表示されます。

Subnet Mask
255.255.255. 0

- ❸ テンキーでサブネットマスク（nnn.nnn.nnn.nnn）を入力します

- ❹  を押します

サブネットマスクが正しく入力されると設定確認画面が表示されます。

Subnet Mask
Set?

- ❺  を押します

設定登録画面が数秒間表示されます。

その後、設定値が保存され、手順1の画面に戻ります。

Subnet Mask
Memory

本体設定（つづき）

デフォルトゲートウェイ設定

デフォルトゲートウェイを設定します。

操作手順

❶ メニューから「Gateway」を選択します

Gateway
192.168. 0. 1

現在のデフォルトゲートウェイが表示されます。
初期値：192.168.0.1

❷  を押します

デフォルトゲートウェイ設定画面が表示されます。

Gateway
192.168. 0. 1

❸ テンキーでデフォルトゲートウェイ（nnn.nnn.nnn.nnn）を入力します

❹  を押します

デフォルトゲートウェイが正しく入力されると設定確認画面が表示されます。

Gateway
Set?

❺  を押します

設定登録画面が数秒間表示されます。

その後、設定値が保存され、手順1の画面に戻ります。

Gateway
Memory

接続相手のIPアドレス設定

接続相手（接続するPCソフトがインストールされたPC）のIPアドレスを設定します。

操作手順

❶ メニューから「Server IP Addr」を選択します

Server IP Addr
192.168. 0.200

現在の接続相手のIPアドレス設定が表示されます。
初期値：192.168.0.200

❷  を押します

接続相手のIPアドレス設定画面が表示されます。

Server IP Addr
192.168. 0.200

❸ テンキーを使ってアドレス（nnn.nnn.nnn.nnn）を入力します

❹  を押します

接続相手のIPアドレスが正しく入力されると、設定確認画面が表示されます。

Server IP Addr
Set?

❺  を押します

設定登録画面が数秒間表示されます。

その後、設定値が保存され、手順1の画面に戻ります。

Server IP Addr
Memory

接続相手との通信モード設定

接続相手（接続するPCソフト）との通信モード（Normal（通常モード）／CU950 Compatible（互換モード））を設定します。設定を「Normal（通常モード）」にすると、接続するPCソフトとの通信において、セキュリティ脅威から保護する通信を行います。設定を「CU950 Compatible（互換モード）」にすると、CU950*1に対応した従来のPCソフトと通信が可能になります。

セキュリティ脅威から保護する通信を行うため、本機に対応したPCソフトあるいは従来のPCソフトを本機に対応したバージョンへアップデートしてお使いください。

※1 CU950とはWV-CU950またはDG-CU950を表します。

本体設定（つづき）

操作手順

1 メニューから「Communicat Mode」を選択します

Communicat Mode
Normal

現在の接続相手との通信モード設定が表示されます。
初期値：Normal（通常モード）

2 を押します

接続相手との通信モード設定画面が表示されます。

Communicat Mode
Normal

3 または で通信モードのNormal / CU950 Compatibleを変更します

Communicat Mode
CU950 Compatible

4 を押します

設定確認画面が表示されます。

Communicat Mode
Set?

5 を押します

設定登録画面が数秒間表示されます。

その後、設定値が保存され、手順1の画面に戻ります。

Communicat Mode
Memory

接続相手との通信用キー

接続相手（接続するPCソフト）との通信用キーを設定します。

メモ

- 通信用キーは、PCソフト側も同じ設定にする必要があります。詳しくは、接続するPCソフトの取扱説明書を参照してください。
- 通信用キーは、通信モードが「Normal（通常モード）」の場合に必要です。「CU950 Compatible（互換モード）」の場合は設定不要です。

操作手順

1 メニューから「Communicat Key」を選択します

Communicat Key
12345678

現在の接続相手との通信用キーが表示されます。

2 を押します

接続相手との通信用キー設定画面が表示されます。

Communicat Key
12345678

4 を押します

接続相手との通信用キーに誤った設定（数字8桁以外）がされた場合、「Set 8 digits num」が数秒間表示され、手順2の画面に戻ります。正しい接続相手との通信用キー（数字8桁）を設定してください。

正しい通信用キーが入力されると、設定確認画面が表示されます。

Communicat Key
Set?

3 接続相手との通信用キーをテンキーを使って入力します

接続相手との通信用キーは、00000000 ~ 99999999の間（数字8桁）で設定できます。

Communicat Key
87654321

5 を押します

設定登録画面が数秒間表示されます。

その後、設定値が保存され、手順1の画面に戻ります。

Communicat Key
Memory

オートログイン／オートログアウトの設定

オートログイン／オートログアウトの設定をします。オートログインを設定すると、本機に電源を入れたとき自動的にログインできるようになります。オートログアウトを設定すると、ログイン状態で一定時間操作が行われなかった場合に、自動的にログアウトします。オートログインとオートログアウトを同時に設定することはできません。不正操作を防止するためにオートログアウトを設定して運用することをお勧めします。

設定項目選択

操作手順

- 1 設定メニューから「004 Auto Login Setup」を選択します（☞21ページ手順1～2）

MENU 004
Auto Login Setup

Auto Login/out
Off

初期値：Off

- 2  を押します

現在のオートログイン／オートログアウト設定が表示されます。

- 3  を押します

オートログイン／オートログアウト設定画面が表示されます。

Auto Login/out
Off

<オートログインを設定する場合>

- 4  または  を押して、オートログインさせたいユーザーを選択します

Auto Login/out
Login Operator01

 または  を押すごとに、オートログインさせたいユーザーが切り換わります。

設定範囲：Login Admin（管理者でログイン）、Login Operator01（オペレーター No.1でログイン）～Login Operator16（オペレーター No.16でログイン）

<オートログアウトを設定する場合>

- 4  または  を押して、オートログアウトするまでの時間を選択します

Auto Login/out
Logout 5min

 または  を押すごとに、オートログアウトするまでの時間が切り換わります。

設定範囲：Logout 5min（5分）、Logout 10min（10分）、Logout 30min（30分）、Logout 60min（60分）、Logout 120min（120分）です。

<オートログイン／オートログアウトを解除する場合>

- 4  または  を押して、Offを選択します

Auto Login/out
Off

- 5  を押します

設定確認画面が表示されます。

Auto Login/out
Set?

- 6  を押します

設定登録画面が数秒間表示されます。

その後、設定値が保存され、手順2の画面に戻ります。

Auto Login/out
Memory

ログイン中のユーザーが管理者でないときは、現在のオートログイン／オートログアウト設定が表示される前（手順2）に、管理者ID入力画面が表示され、管理者ID、パスワードの入力が必要になります。入力方法は、「設定メニューの使い方」（☞21ページ）を参照してください。

本体設定（つづき）

管理者の設定

管理者の設定手順を以下に示します。

メモ

- セキュリティ確保のため、第三者に容易に推測されにくいID、パスワードを設定してください。
- 設定したID、パスワードは忘れないように注意し、第三者の目に触れないよう適切に管理してください。
- 各入力画面で、 または  を押すと、1つ前の画面に戻ります。

操作手順

1 設定メニューから「005 Admin Setup」を選択します（☞21ページ手順1～2）

MENU 005
Admin Setup

2  を押します

現在の管理者ID設定が表示されます。

Admin Setup
AdminID 12345678

3  を押します

管理者ID設定画面が表示されます。

Admin Setup
AdminID

4 管理者IDをテンキーを使って入力します

管理者IDは、00000000～99999999の間（数字8桁）で設定できます。

Admin Setup
AdminID 12345678

5  を押します

管理者パスワードの入力画面が表示されます。

Admin Setup
Passwd

6 管理者パスワードをテンキーを使って入力します

管理者パスワードは、00000000～99999999の間（数字8桁）で設定できます。

Admin Setup
Passwd

7  を押します

メッセージ「Passwd Re-enter」が数秒間表示され、再度、管理者パスワードの入力画面が表示されます。

Admin Setup
Passwd

8 手順6で入力した管理者パスワードを再度テンキーを使って入力します

管理者パスワードは、00000000～99999999の間（数字8桁）で設定できます。

Admin Setup
Passwd

9  を押します

設定確認画面が表示されます。

手順6と手順8で入力した管理者パスワードが異なる場合、「Passwd Mismatch」が数秒間表示され、手順3の画面に戻ります。

Admin Setup
Set?

10  を押します

設定登録画面が数秒間表示されます。

その後、設定値が保存され、手順2の画面に戻ります。

Admin Setup
Memory

ログイン中のユーザーが管理者でないときは、現在の管理者ID設定が表示される前（手順2）に、管理者ID入力画面が表示され、管理者ID、パスワードの入力が必要になります。

入力方法は、「設定メニューの使い方」（☞21ページ）を参照してください。

本体設定（つづき）

オペレーターの登録・変更

オペレーターの新規登録および登録内容の変更を行います。オペレーターは16ユーザーまで登録できます。

メモ

- セキュリティ確保のため、第三者に容易に推測されにくいID、パスワードを設定してください。
- 設定したID、パスワードは忘れないように注意し、第三者の目に触れないよう適切に管理してください。

操作手順

1 設定メニューから「006 Operator Setup」を選択します（☞21ページ手順1～2）

MENU 006
Operator Setup

2  を押します

オペレーターの登録・変更画面が表示されます。

Operator Setup
Operator01 Unreg

3  または  を押して、新規登録または設定内容を変更したいオペレーター番号を選択します

 または  を押すごとに、Operator01（オペレーター 1）からOperator16（オペレーター 16）まで切り換わります。

新規登録を行う場合は、右側に「Unreg」と表示されているオペレーター番号（未登録のオペレーターを示します）を選択してください。

4  を押します

ユーザー IDの設定画面が表示されます。

Operator01
User ID

5 ユーザー IDをテンキーを使って入力します

ユーザー IDは、00000000～99999999の間（数字8桁）で設定できます。

Operator01
User ID 12345678

6  を押します

パスワードの入力画面が表示されます。

Operator01
Passwd

7 パスワードをテンキーを使って入力します

パスワードは、00000000～99999999の間（数字8桁）で設定できます。

Operator01
Passwd *****

8  を押します

ファンクションレベルの設定画面が表示されます。

Operator01
Func Level 1

初期値：レベル1

9  または  でファンクションレベルを選択します

設定範囲：1（ファンクションレベル1）～3（ファンクションレベル3）

Operator01
Func Level 2

ファンクションレベルの詳細は、「ファンクションレベルの変更」（☞33ページ）をお読みください。

10  を押します

設定確認画面が表示されます。

Operator01
Set?

11  を押します

設定登録画面が数秒間表示されます。

その後、設定値が保存され、手順2の画面に戻ります。（新規登録の場合は「Unreg」非表示となります）。

Operator01
Memory

ログイン中のユーザーが管理者でないときは、オペレーターの登録・変更画面が表示される前（手順2）に、管理者ID入力画面が表示され、管理者ID、パスワードの入力が必要になります。

入力方法は、「設定メニューの使い方」（☞21ページ）を参照してください。

本体設定（つづき）

オペレーターの削除

登録済みのオペレーターを削除することができます。

操作手順

1  または  を押して、登録を削除したいオペレーター番号を選択します

 または  を押すごとに、Operator01（オペレーター 1）からOperator16（オペレーター 16）まで切り換わります。

登録削除は、右側に「Unreg」あるいは「Login」と表示されていないオペレーター番号を選択してください。

```
Operator Setup
Operator02
```

2  を押します

削除確認画面が表示されます。

```
Operator02
Clear?
```

3  を押します

削除画面が数秒間表示されます。

```
Operator02
Erased
```

その後、手順1の画面へ「Unreg」表示で戻ります。

```
Operator Setup
Operator02 Unreg
```

ファンクションレベルの変更

オペレーターが利用できる機能ボタンの制限を設定する、ファンクションレベル（機能制限）の内容を変更します。ファンクションレベルはテーブル1～3まであります。

操作手順

1 設定メニューから「007 Func Level Setup」を選択します（☞21ページ手順1～2）

```
MENU      007
Func Level Setup
```

2  を押します

ファンクションレベル設定画面が表示されます。

```
Func Level Setup
Func Level  1
```

3  または  を押して、変更したいレベルのテーブル番号を選択します

 または  を押すごとに、ファンクションレベル1（テーブル1）からファンクションレベル3（テーブル3）まで切り換わります。

```
Func Level Setup
Func Level  2
```

4  を押します

選択したテーブル番号の設定画面が表示されます。

```
Func Level  2
01 MENU     D
```

5  または  を押して、許可/禁止を変更したい機能ボタン項目を選択します

選択している機能ボタン項目が表示されます。

```
Func Level  2
05 NVR OPERATE E
```

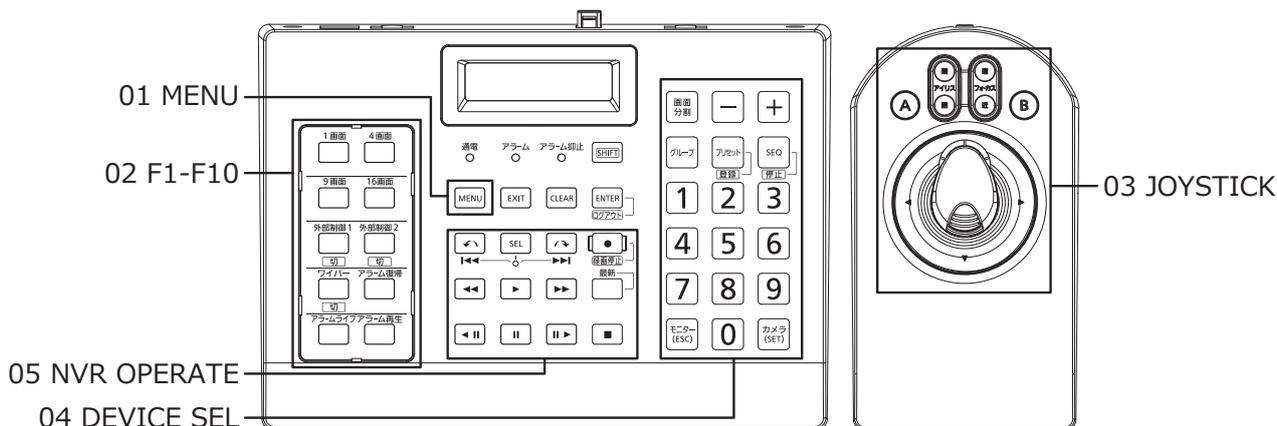
本体設定 (つづき)

選択できる機能ボタン項目と各ファンクションレベル (テーブル1 ~ テーブル3) の初期設定は以下のとおりです。

機能	ディスプレイに表示され名称	対象ボタン (※)	ファンクションレベル		
			Level1	Level2	Level3
01	MENU	[MENU]	E	D	D
02	F1-F10	(本体前面パネル左側) [1画面] [4画面] [9画面] [16画面] [外部制御1 / 切] [外部制御2 / 切] [ファイバー / 切] [アラーム復帰] [アラームライブ] [アラーム再生]	E	E	E
03	JOYSTICK	(ジョイスティック部スイッチ) [A] [B] [トップボタン] [ジョイスティック] [ズームボリューム] [フォーカス遠] [フォーカス近] [アイリス開] [アイリス閉]	E	E	E
04	DEVICE SEL	(本体前面パネル右側) [画面分割] [+] [-] [グループ] [プリセット / 登録] [SEQ / 停止] [0] ~ [9] [モニター (ESC)] [カメラ (SET)]	E	E	E
05	NVR OPERATE	(本体前面パネル中央) [最新] [停止] [録画 / 録画停止] [早戻し] [再生] [早送り] [コマ戻し] [一時停止] [コマ送り] [逆ジャンプ / 逆スキップ] [ジャンプ / スキップ]	E	E	D

(※) 記載のないボタン ([ENTER / ログアウト] [EXIT] [SHIFT] [CLEAR] ボタン) 及びログアウト機能 ([SHIFT] + [ENTER] ボタン) に制限はありません。またメニュー機能実行中の全ボタンの制限は [MENU] ボタンに対する設定と同じになります (例えば01 MENU=「許可 (E)」、04 DEVICE SEL=「禁止 (D)」設定の場合、[MENU] ボタン押下によるメニュー機能実行中の04 DEVICE SEL対象ボタン ([0] ボタン等) は「許可 (E)」となります)。

注: Eは許可、Dは禁止を示しています。



6  でカーソルを右に移動させます。

「許可: E / 禁止: D」を選択する画面になります。

Func Level 2
05 NVR OPERATE E

 または  で機能ボタンの選択画面に戻ります。

7  または  を押して、許可 (E) / 禁止 (D) を選択します

Func Level 2
05 NVR OPERATE D

8  を押します

設定確認画面が表示されます。

Func Level 2
Set?

9  を押します

設定登録画面が数秒間表示されます。
その後、設定値が保存され、手順2の画面に戻ります。
複数の機能制限を変更する場合は、手順2 ~ 手順9を繰り返します。

Func Level 2
Memory

ログイン中のユーザーが管理者でないときは、ファンクションレベル設定画面が表示される前 (手順2) に、管理者ID入力画面が表示され、管理者ID、パスワードの入力が必要になります。
入力方法は、「設定メニューの使い方」(☞21ページ) を参照してください。

本体設定（つづき）

オペレーターの設定を確認する

登録されているオペレーターのユーザー IDとパスワードを確認できます。

操作手順

- 1 設定メニューから「008 Operator Check」を選択します（☞21ページ手順1～2）

```
MENU      008
Operator Check
```

- 2  を押します

オペレーター設定（ユーザー IDとパスワード）確認画面が表示されます。

```
Operator Check
Operator01 Unreg
```

- 3  または  を押して、設定確認したいオペレーター番号を選択します

 または  を押すごとに、Operator01（オペレーター 1）からOperator16（オペレーター 16）まで切り換わります。

```
Operator Check
Operator02
```

設定確認を行う場合は、右側に「Unreg」と表示されていないオペレーター番号（登録済のオペレーターを示します）を選択してください。

- 4  を押します

選択したオペレーター番号の設定（ユーザー IDとパスワード）表示画面が表示されます。

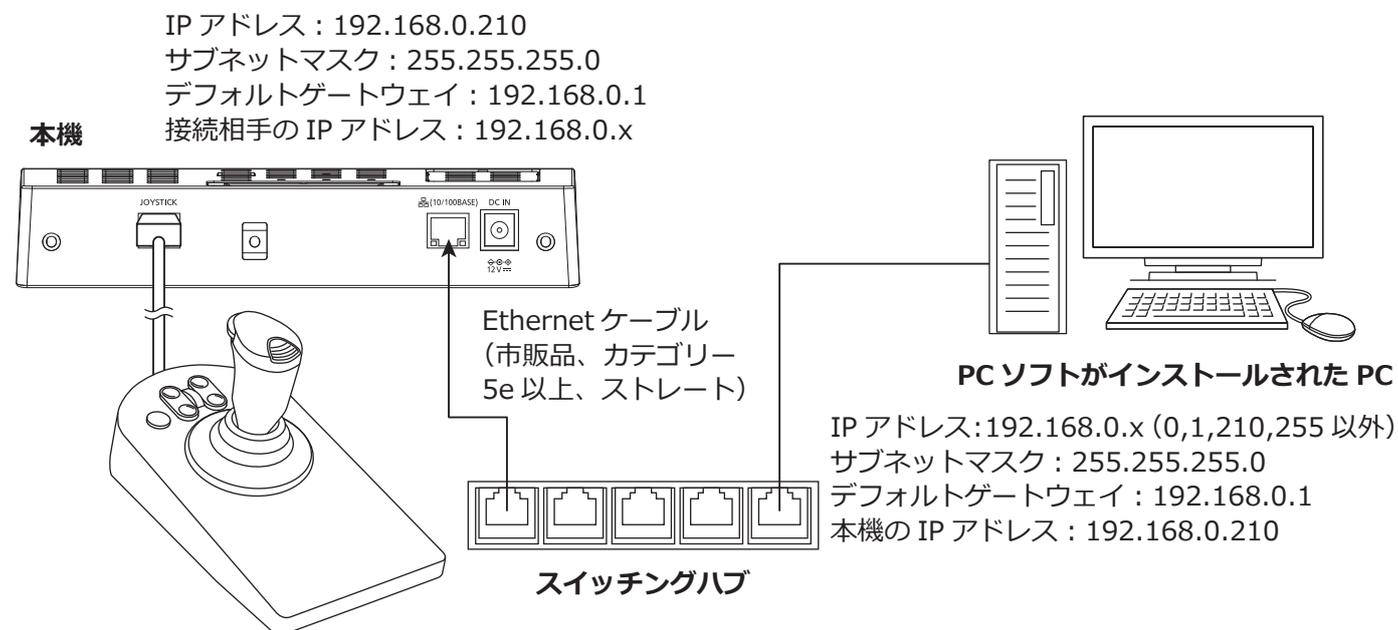
```
User ID  12345678
Passwd   12345678
```

ログイン中のユーザーが管理者でないときは、オペレーター設定（ユーザー IDとパスワード）確認画面が表示される前（手順2）に、管理者ID入力画面が表示され、管理者ID、パスワードの入力が必要になります。入力方法は、「設定メニューの使い方」（☞21ページ）を参照してください。

操作

PCと接続する

本機とPCソフトがインストールされたPCとスイッチングハブ経由で接続します。



メモ

- PCソフトと接続する場合、ネットワークの設定の他に通信用キーの設定が必要です (☞29ページ)。

PCソフトを操作する

本機を使って、接続するPCソフトを操作することができます。

PCソフトの操作は、接続するPCソフトおよびそのバージョンによって異なります。

詳しくは、接続するPCソフトの取扱説明書を参照してください。

メンテナンス

ジョイスティック部の調整

ここでは、ジョイスティック部（ジョイスティック、ズームボリューム）のキャリブレーション（以下、調整）方法について説明します。

通常は調整を行う必要はありません。以下のような場合に調整を行ってください。

- ジョイスティックを操作していない（手を放して中央に戻っている）のに、カメラ映像が動く（パン、チルトする）。
- ズームボリュームを操作していない（手を放して中央に戻っている）のに、カメラ映像のズームが変化する。

ジョイスティックの調整

ジョイスティックを調整します。

メモ

- 調整時に表示されるチルトおよびパン状態値は、ジョイスティックの上下左右方向への倒し方に応じて変化します。また、機器毎、調整する毎に異なる場合があります。
- 調整時にジョイスティックを中央に戻すときはゆっくりと戻さず、弾くように手を放してください。ゆっくりと戻すと、中央ではなく少し倒れた状態で止まる場合があります。

操作手順

1 **9** + **モニター (ESC)** を押しながら電源を入れます

管理者ID入力画面が表示されます。

```
Pan/Tilt Calib
AdminID [ ]
```

2 **管理者IDをテンキーで入力します**

入力した管理者IDがディスプレイに表示されます。

```
Pan/Tilt Calib
AdminID 12345678
```

3 **カメラ (SET)** を押します

パスワード入力画面が表示されます。

```
Pan/Tilt Calib
Passwd [ ]
```

4 **管理者パスワードをテンキーで入力します**

```
Pan/Tilt Calib
Passwd *****
```

5 **カメラ (SET)** を押します

誤った管理者IDまたはパスワードを入力した場合は、「Invalid」が数秒間表示され、管理者ID入力画面に戻ります。正しい管理者ID、パスワードを入力してください。管理者ID、パスワードが正しく入力されると、パン/チルト キャリブレーション設定確認画面が表示されます。

T:FE/02, 7F	0	ジョイスティックのチルト調整値（上下方向）
P:FF/01, 7E	0	ジョイスティックのパン調整値（左右方向）

ジョイスティックが中央の状態

画面右上に、ジョイスティックのチルト調整値が表示されます。

表示されるチルト調整値は、ジョイスティックを上下方向に動かすと-64（下端に倒した状態）～0（手を放して中央に戻っている状態）～64（上端に倒した状態）の範囲で変化します。

T:FE/02, 7F	64	T:FE/02, 7F	-64
P:FF/01, 7E	0	P:FF/01, 7E	0

ジョイスティックを上端に倒した状態 ジョイスティックを下端に倒した状態

メンテナンス (つづき)

画面右下に、ジョイスティックのパン調整値が表示されます。

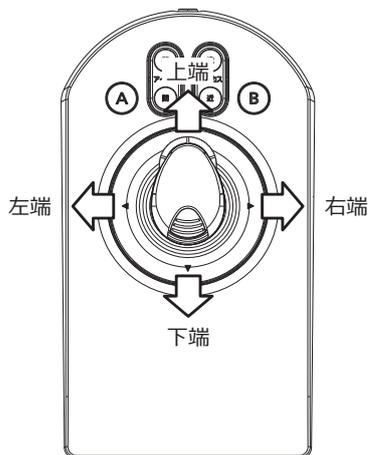
表示されるパン調整値は、ジョイスティックを左右方向に動かすと-64（左端に倒した状態）～0（手を放して中央に戻っている状態）～64（右端に倒した状態）の範囲で変化します。

T:FE/02, 7F 0
P:FF/01, 7E 64

T:FE/02, 7F 0
P:FF/01, 7E -64

ジョイスティックを右端に倒した状態 ジョイスティックを左端に倒した状態

ジョイスティックを上下左右および中央に操作した場合に、表示される調整値（上下方向、左右方向）が、上述のように-64～0～64とならないときはジョイスティックの調整がずれている可能性があるため、以下の手順で調整を実施してください。



6 カメラ (SET) を押します

チルト（上端）設定画面が表示されます。画面右上に、ジョイスティックのチルト状態値が表示されます。

T:---/--, -- 7F
P:---/--, --

7 ジョイスティックを上端に倒したままにします

画面右上のチルト状態値が変化します。

T:---/--, -- FE
P:---/--, --

8 カメラ (SET) を押します

上端のチルト値がカーソルの位置に表示されると同時に、カーソルが移動して、チルト（下端）設定画面になります。

T:FE/---, -- FE
P:---/--, --

9 ジョイスティックを真下の方向にいっぱい（下端）に倒したままにします

画面右上のチルト状態値が変化します。

T:FE/---, -- 02
P:---/--, --

10 カメラ (SET) を押します

下端のチルト値がカーソルの位置に表示されると同時に、カーソルが移動して、チルト（中央）設定画面になります。

T:FE/02, --- 02
P:---/--, --

11 ジョイスティックから手を放して中央に戻します

画面右上のチルト状態値が変化します。

T:FE/02, --- 7F
P:---/--, --

12 カメラ (SET) を押します

中央のチルト値がカーソルの位置に表示されると同時に、カーソルが移動して、パン（右端）設定画面になります。

画面右下に、パン状態値が表示されます。

T:FE/02, 7F
P:---/--, -- 7E

13 ジョイスティックを右端に倒したままにします

画面右下のパン状態値が変化します。

T:FE/02, 7F
P:---/--, -- FF

14 カメラ (SET) を押します

右端のパン値がカーソルの位置に表示されると同時に、カーソルが移動して、パン（左端）設定画面になります。

T:FE/02, 7F
P:FF/---, -- FF

15 ジョイスティックを左端に倒したままにします

画面右下のパン状態値が変化します。

T:FE/02, 7F
P:FF/---, -- 01

メンテナンス (つづき)

16 を押します

下端のパン値がカーソルの位置に表示されると同時に、カーソルが移動して、パン (中央) 設定画面になります。

T:FE/02, 7F	
P:FF/01, ---	01

17 ジョイスティックから手を放して中央に戻します

画面右下のパン状態値が変化します。

T:FE/02, 7F	
P:FF/01, ---	7E

18 を押します

中央のパン値がカーソルの位置に表示されると同時に、設定確認画面になります。

T:FE/02, 7F	Set
P:FF/01, 7E	?

19 を押します

設定登録画面が数秒間表示されます。

T:FE/02, 7F	Mem
P:FF/01, 7E	ory

その後、パン/チルト キャリブレーション設定確認画面へ遷移します (設定値が反映されます)。

T:FE/02, 7F	0
P:FF/01, 7E	0

画面右上に、ジョイスティックのチルト調整値が表示されます。

表示されるチルト調整値は、ジョイスティックを上下方向に動かすと-64 (下端に倒した状態) ~ 0 (手を放して中央に戻っている状態) ~ 64 (上端に倒した状態) の範囲で変化します。

画面右下に、ジョイスティックのパン調整値が表示されます。

表示されるパン調整値は、ジョイスティックを左右方向に動かすと-64 (左端に倒した状態) ~ 0 (手を放して中央に戻っている状態) ~ 64 (右端に倒した状態) の範囲で変化します。

20 パン/チルト キャリブレーション設定を確認します

ジョイスティックを上端に倒したとき、表示されるチルト調整値が64となることを確認してください。

T:FE/02, 7F	64
P:FF/01, 7E	0

ジョイスティックを下端に倒したとき、表示されるチルト調整値が-64となることを確認してください。

T:FE/02, 7F	-64
P:FF/01, 7E	0

ジョイスティックを右端に倒したとき、表示されるパン調整値が64となることを確認してください。

T:FE/02, 7F	0
P:FF/01, 7E	64

ジョイスティックを左端に倒したとき、表示されるパン調整値が-64となることを確認してください。

T:FE/02, 7F	0
P:FF/01, 7E	-64

ジョイスティックから手を放して中央に戻っているとき、表示されるチルト調整値とパン調整値がともに0となることを確認してください。

T:FE/02, 7F	0
P:FF/01, 7E	0

ジョイスティックを操作したとき、表示されるチルト調整値とパン調整値が上述のようにならない場合は、ジョイスティックの調整が正しくできていない可能性があります。この場合は電源を切って、再度手順1 ~ 手順20を実施してください。

21 電源を切ります

調整後、電源を切りキャリブレーションを終了します。

メモ

-  または  を押すと、設定登録画面は表示されず、パン/チルト キャリブレーション設定確認画面へ遷移します (設定値は反映されません)。

メンテナンス (つづき)

ズームボリュームの調整

ズームボリュームを調整 (ズーム キャリブレーション) します。

メモ

- 表示されるズームボリュームの状態値は、ズームボリュームの回し方に応じて変化します。
- 表示されるズームボリュームの状態値は、機器毎または調整する毎に異なる場合があります。
- ズームボリュームを中央に戻すときはゆっくりと戻さず、弾くように手を放してください。ゆっくりと戻すと、中央ではなく少し倒れた状態で止まる場合があります。

操作手順

1 **8** + **モニター (ESC)** を押しながら電源を入れます

管理者ID入力画面が表示されます。

Zoom Calib
AdminID

2 管理者IDをテンキーを使って入力します

入力した管理者IDがディスプレイに表示されます。

Zoom Calib
AdminID

3 **カメラ (SET)** を押しします

パスワード入力画面が表示されます。

Zoom Calib
Passwd

4 管理者パスワードをテンキーを使って入力します

Zoom Calib
Passwd

5 **カメラ (SET)** を押しします

誤った管理者IDまたはパスワードを入力した場合は、「Invalid」が数秒間表示され、管理者ID入力画面に戻ります。正しい管理者ID、パスワードを入力してください。管理者ID、パスワードが正しく入力されると、ズームキャリブレーション設定確認画面が表示されます。

Z: FF/01, 7F ← ズームボリュームの調整値

ズームボリュームが中央の状態

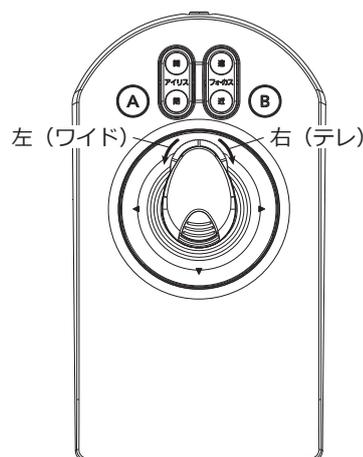
画面右上に、ズームボリュームの調整値が表示されます。表示される調整値は、ズームボリュームを左右方向に動かすと-4 (左端 (ワイド端) に回した状態) ~ 0 (手を放して中央に戻っている状態) ~ 4 (右端 (テレ端) に回した状態) の範囲で変化します。

Z: FF/01, 7F

Z: FF/01, 7F

ズームボリュームを左端 (ワイド端) に回した状態 ズームボリュームを右端 (テレ端) に回した状態

ズームボリュームを左右および中央に操作した場合に、表示される調整値が、上述のように-4 ~ 0 ~ 4とならないときはズームボリュームの調整がずれているため、以下の手順で調整を実施してください。



6 **カメラ (SET)** を押しします

ズームボリューム (テレ端) 設定画面が表示されます。画面右上に、ズームボリューム状態値が表示されます。

Z: , --

メンテナンス (つづき)

7 ズームボリュームを右端 (テレ端) に回したままにします

画面右上のズームボリューム状態値が変化します。

Z:  / ---, --- FF

8 を押します

テレ端のズームボリューム値がカーソルの位置に表示されると同時に、カーソルが移動して、ズームボリューム (ワイド端) 設定画面になります。

Z: FF /  , --- FF

9 ズームボリュームを左端 (ワイド端) に回したままにします

画面右上のズームボリューム状態値が変化します。

Z: FF /  , --- 01

10 を押します

ワイド端のズームボリューム値がカーソルの位置に表示されると同時に、カーソルが移動して、ズームボリューム (中央) 設定画面になります。

Z: FF / 01,  01

11 ズームボリュームから手を放して中央に戻します

画面右上のズームボリューム状態値が変化します。

Z: FF / 01,  7F

12 を押します

中央のズームボリューム値がカーソルの位置に表示されると同時に、設定確認画面になります。

Z: FF / 01, 7F  Set ?

13 を押します

設定登録画面が数秒間表示されます。

Z: FF / 01, 7F  Mem ory

その後、ズーム キャリブレーション設定確認画面へ遷移します (設定値が反映されます)。

Z: FF / 01, 7F  0 ←ズームボリュームの調整値

画面右上に、ズームボリュームの調整値が表示されます。

表示される調整値は、ズームボリュームを左右方向に動かすと-4 (左端 (ワイド端) に回した状態) ~ 0 (手を放して中央に戻っている状態) ~ 4 (右端 (テレ端) に回した状態) の範囲で変化します。

メモ

-  または  を押すと、設定登録画面は表示されず、ズーム キャリブレーション設定確認画面へ遷移します (設定値は反映されません)。

14 ズーム キャリブレーション設定を確認します

ズームボリュームを右端 (テレ端) に回したとき、表示される調整値が4となることを確認してください。

Z: FF / 01, 7F  4

ズームボリュームを左端 (ワイド端) に回したとき、表示される調整値が-4となることを確認してください。

Z: FF / 01, 7F  -4

ズームボリュームから手を放して中央に戻っているとき、表示される調整値が0となることを確認してください。

Z: FF / 01, 7F  0

ズームボリュームを操作したとき、表示される調整値が上述のようにならない場合は、ズームボリュームの調整が正しくできていない可能性があります。この場合は電源を切って、再度手順1 ~ 手順14を実施してください。

15 電源を切ります

調整後、電源を切りキャリブレーションを終了します。

オールリセット

オールリセットを実行すると、本機のメニュー機能を使って設定できる本体設定が初期状態にリセットされます。本体設定が初期状態にリセットされるため、次に本機の電源を入れて起動したときに、初回セットアップが必要になります。詳しくは、「初回セットアップ」（☞17ページ）を参照してください。

オールリセットで初期化される設定は、以下のとおりです。

- ディスプレイ／ブザーの調整
- ジョイスティックの設定
- ネットワークの設定
- オートログイン／オートログアウトの設定
- 管理者の設定
- オペレーターの設定
- ファンクションレベルの設定

操作手順

1 **2** + **4** + **6** を押しながら電源を入れます
オールリセット実行確認画面が表示されます。

All Reset
Reset?

2 **カメラ (SET)** を押します

オールリセット実行画面が数秒間表示されます。
その後、オールリセット実行完了画面へ遷移します。

All Reset



All Reset
End

3 電源を切ります

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で現象を確かめてください。

これらの対策をしても直らないときやわからないとき、この表以外の現象が起きたときまたは工事に関係する内容のときは、お買い上げの販売店（設置工事店）にご相談ください。

また、パナソニックサポートウェブサイト（<https://sol.panasonic.biz/security/support>）のFAQ（よくあるご質問）も参照してください。

現象	原因・対策	参照ページ
電源が入らない	●電源プラグがACコンセントに確実に接続されていますか？ 接続されているか、確認してください。	-
	●電源コードが、ACアダプターに確実に差し込まれていますか？ 差し込まれているか、確認してください。	15
	●DCプラグが、本機の電源接続端子に確実に差し込まれていますか？ 差し込まれているか、確認してください。	15
ディスプレイが暗い/ディスプレイに文字が表示されない	●ディスプレイの輝度やコントラストは正しく設定されていますか？ 調整値を確認してください。	22
ログイン画面がディスプレイに表示されない	●メンテナンス機能用の複数のボタンが押されたままの状態です電源を入れていませんか？ ボタンが押されていないことを確認して、電源を入れ直してください。	37
ジョイスティックでカメラ操作できない	●ジョイスティック部と本体部分は、正しく接続されていますか？ 接続されているか確認してください。	15
	●ログインしているユーザーはそのボタンを押して操作できるファンクションレベルになっていますか？ ログインしているユーザーのファンクションレベル設定を確認してください。	33
ジョイスティックから手を離してもカメラがパン・チルト・ズームする	●ジョイスティック部と本体部分は、正しく接続されていますか？ 接続されているか確認してください。	15
	●ジョイスティック部のキャリブレーションが行われていますか？ キャリブレーションを行ってください。	37
パン速度やチルト速度がジョイスティックを傾ける方向によって異なる	●ジョイスティック部のキャリブレーションが行われていますか？ キャリブレーションを行ってください。	37
ログインできない	●ユーザー IDは正しく入力できましたか？ 正しいIDを入力し直してください。	35
	●パスワードは正しく入力できましたか？ 間違えて入力すると、ログイン画面に戻りますので、もう一度ユーザー IDを入力するところからやり直してください。	35
ブザーが鳴らない	●アラーム音の設定、キー操作音の設定はOnになっていますか？ 設定値を確認してください。	24
押しても何も実行できないボタンがある	●選択しているグループまたはカメラで実行できるボタンですか？ 選択している機器により実行できる機能は異なります。 PCソフトの取扱説明書をお読みください。	-
	●ログインしているユーザーはそのボタンを押して操作できるファンクションレベルになっていますか？ ログインしているユーザーのファンクションレベル設定を確認してください。	33

電源コード・コネクター・電源プラグは、定期的に点検してください。

現象	原因・対策	参照ページ
電源コードの被ふくが傷んでいる	●電源コード・コネクター・電源プラグが傷んでいます。 そのままの状態を使い続けると、感電や火災の原因になります。 直ちに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店（設置工事店）に修理を依頼してください。	-
使用中、電源コード・コネクター・電源プラグの一部が熱い		
使用中、電源コードを曲げたり伸ばしたりすると、温かくなったり、ぬるくなったりする		

長期使用のお願い

長期間使用に関するお願い

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検をお願いします。

本機を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障したり、事故につながることもあります。

下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？

- 煙が出たり、こげくさいにおいや異常な音がする。
- 電源コード・電源プラグ・ACアダプターが異常に熱い。または割れやキズがある。
- 製品に触るとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても、ディスプレイ表示されない。
- その他の異常・故障がある。



直ちに使用を中止してください

故障や事故防止のため、**電源を切り**、必ず販売店または施工業者に**点検**や**撤去**を依頼してください。

仕様

●本体

電源	DC 12 V 250 mA
消費電力	付属のACアダプター使用時 約3 W (DC 12 V 250 mA)
使用温度範囲	0 °C ~ 50 °C
使用湿度範囲	5 % ~ 90 % (結露なきこと)
ディスプレイ	液晶表示器 (16文字×2行) 輝度、コントラスト調整可
RJ45ネットワーク端子	10BASE-T / 100BASE-TX RJ-45 1系統
ジョイスティック接続端子	独自インターフェース RJ-45 1系統
寸法	本体部 : 幅 237 mm 高さ 45 mm 奥行き 173 mm (突起部含まず) ジョイスティック部 : 幅 113 mm 高さ 121 mm 奥行き 206 mm (ケーブル含まず)
質量	本体部 : 約840 g ジョイスティック部 : 約640 g
仕上げ	本体部 : 操作パネル 樹脂、塗装色 (黒) ジョイスティック部 : ベース 樹脂、塗装色 (黒) ジョイスティック 樹脂、生地色 (黒)

●AC アダプター (付属品)

入力	AC 100 V、50 Hz/60 Hz
出力	DC 12 V 1.5 A
寸法	幅 53 mm 高さ 33 mm 奥行き 111 mm (電源コード、DC ケーブルを除く)
質量	約166 g

Open Source Software

This software contains third-party software programs licensed under BSD.

Copyright (c) 1992, 1993

The Regents of the University of California. All rights reserved.

Copyright (c) 1990, 1993

The Regents of the University of California. All rights reserved.

Copyright (c) 1992, 1993

The Regents of the University of California. All rights reserved.

This code is derived from software contributed to Berkeley by Chris Torek.

NOTICE:

Since the sockets interface was designed and developed at the University of California, the following copyright is included. Portions of the following definitions are protected by that copyright

Copyright (c) 1982, 1986, 1991, 1993, 1994

The Regents of the University of California. All rights reserved.

(c)UNIX System Laboratories, Inc.

All or some portions of this file are derived from material licensed to the University of California by American Telephone and Telegraph Co. or Unix System Laboratories, Inc. and are reproduced herein with the permission of UNIX System Laboratories, Inc.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電 話	() -
お買い上げ日	年 月 日

修理を依頼されるときは

「故障かな!？」(☎43ページ)でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

- **製品名** システムコントローラー
- **品 番** WV-CU980
- **故障の状況** できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **7年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは <https://panasonic.biz/cns/cs/cntctus/>

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくためのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニックi-PROセンシングソリューションズ株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic i-PRO Sensing Solutions Co., Ltd. 2019

PGQX2338YA
Ls1019-1119
Printed in China